

問1 鎌倉時代に宋（中国）へ渡って禅を学び、帰国後に「只管打坐（しかんたざ）」と呼ばれる、ひたすら座禅に打ち込む修行を重視する宗派を開いた僧侶は誰ですか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 最澄                                      2. 道元                                      3. 栄西                                      4. 空海

問2 鎌倉文化の特色について、その成立の背景や理由を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 政治の実権が貴族から武士へと移ったことで、力強く現実的な気風が好まれるようになったため。      2. 中国の唐との交流が途絶えたことで、日本独自の優雅な国風文化が発達したため。      3. 元禄時代に町人が経済力をつけたことで、華やかで享樂的な文化が広がったため。      4. 明治維新によって欧米の思想や技術が急速に流入し、文明開化が起こったため。

問3 鎌倉時代に親鸞が説いた教えについて、その内容と背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 秋田公立入試 類似）

1. 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで誰でも救われると説き、農民を中心とする民衆に広く普及した。      2. 座禅を組むことで自らの力で悟りを開くことを重視し、幕府の保護を受けて武士階級の間に広がった。      3. 「南無妙法蓮華経」という題目を唱えることで、国家の平穩と個人の救済を同時に実現しようとした。      4. 学問や厳しい修行を積んだ者だけが救われると説き、主に京都の貴族層から厚い信仰を集めた。

問4 源頼朝が幕府の拠点として鎌倉を選んだ理由について、当時の地理的条件を説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

1. 北・東・西の三方を山に囲まれ、南が海に面した守りに適した地形だったため      2. 古くからの都であり、朝廷との政治的な連携を密にするのに都合が良かったため      3. 広大な平野が広がり、大規模な稲作による経済基盤の確立が容易だったため      4. 大陸との交易を行うための大型船が停泊できる、水深の深い港があったため

問5 11世紀から12世紀にかけての武士の台頭を説明した記述において、平氏を滅ぼした後に鎌倉を拠点として武家政権を築き、1192年に朝廷から特定の官職に任命された人物は誰ですか。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 源頼朝                                      2. 源義経                                      3. 平清盛                                      4. 足利尊氏

問6 東大寺南大門に安置されている金剛力士像が制作された背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。      2. 定朝が制作し、貴族の好みに合わせた優美で繊細な表現が特徴である。      3. 鞍作鳥が制作し、中国や朝鮮半島の影響を受けた幾何学的な衣のひだが特徴である。      4. 行基が制作し、民衆の安寧を願って作られた素朴な表現が特徴である。

問7 1232年に制定された「御成敗式目（貞永式目）」が作られた背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 御家人と荘園領主などの間で頻発していた土地をめぐる紛争を、公平に裁判するための基準を示すため。      2. モンゴルの襲来（元寇）という国難を前に、御家人たちに忠誠を誓わせ軍役を強化するため。      3. 公家や寺院の支配を完全になくし、日本全国に武家による律令を普及させるため。      4. 生活が困窮した御家人の不満を抑えるため、借金を帳消しにする徳政令を出す手続きを定めるため。

問8 13世紀後半、モンゴル帝国（元）による二度の来襲（元寇）という危機に対し、鎌倉幕府が行った防衛対策として最も適切なものはどれですか。なお、この対策は九州北部の博多湾付近において、海岸線沿いに石を積み上げた長大な設備を築いたものです。（2018年 奈良公立入試 類似）

1. 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防壁を築いた。      2. 三代執権の北条泰時が、元軍の侵略を退けるために武士の裁判基準となる御成敗式目を制定した。      3. 足利尊氏が、大陸からの脅威に対抗するために九州の御家人を動員して防人を配置した。      4. 北条時宗が、元軍の武器である「てつほう」を模倣し、石の防壁から一斉射撃を行う訓練をさせた。

問9 鎌倉時代後半、元軍の襲来（元寇）に備えた軍役負担などで生活が苦しかった御家人を救済するため、鎌倉幕府が借金を帳消しにし、売却したり質に入れたりした土地を無償で取り戻させた命令を何と称しますか。（2021年 岡山公立入試 類似）

1. 徳政令                                      2. 武家諸法度                                      3. 公事方御定書                                      4. 慶安の御赦書

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 道元	鎌倉時代には、武士の精神的支柱となる新しい仏教が次々と誕生しました。道元は宋での修行を経て日本に帰国し、越前（福井県）の永平寺を拠点に曹洞宗を広めました。同じ禅宗でも、公認の地位を求めた臨済宗とは異なり、道元は権力から距離を置き、純粹に座禅を行うことを説いたのが特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 政治の実権が貴族から武士へと移ったことで、力強く現実的な気風が好まれるようになったため。	鎌倉文化がそれまでの平安文化の優雅さと異なり、力強く素朴な特色を持った最大の理由は、社会の主役が貴族から武士へと交代したことにあります。運慶らによる写実的な金剛力士像などは、そうした武士の質実剛健な精神が反映されたものです。唐との交流途絶は平安時代の国風文化、元禄時代の町人は江戸文化、明治維新は近代化の説明であり、いずれも鎌倉文化の背景とは一致しません。
問3	<b>答え 1</b> 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで誰でも救われると説き、農民を中心とする民衆に広く普及した。	鎌倉時代、親鸞は師である法然の教えをさらに深め、浄土真宗（一向宗）を開きました。彼は、修行を行う余裕のない人々や、文字の読めない民衆であっても、「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えれば阿弥陀仏によって救われるという平易な教えを説きました。これが、日々過酷な労働に従事していた農民などの心をつかみ、鎌倉文化における新しい仏教の大きな流れとなりました。
問4	<b>答え 1</b> 北・東・西の三方を山に囲まれ、南が海に面した守りに適した地形だったため	鎌倉は「鎌倉の七口」と呼ばれる切り通し（山を切り開いた道）以外からの侵入が困難な天然の要塞でした。対立勢力からの攻撃を防ぐという軍事的な利点を最優先に考え、源氏ゆかりの地でもあるこの場所が選ばれました。
問5	<b>答え 1</b> 源頼朝	12世紀末に平氏を倒し、東国を基盤として鎌倉幕府を開いた人物についての記述です。彼は朝廷から征夷大將軍に任命されることで、名実ともに武士の棟梁（リーダー）としての地位を確立し、鎌倉に独自の政治組織を築きました。
問6	<b>答え 1</b> 運慶や快慶らが制作し、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴である。	源平の争いで焼失した東大寺の復興にあたり、運慶や快慶ら慶派の仏師が起用されました。彼らは、それまでの貴族的な優美さとは対照的に、台頭する武士の好みに合う、筋肉の動きまでリアルに表現した力強い作品を残しました。
問7	<b>答え 1</b> 御家人と荘園領主などの間で頻発していた土地をめぐる紛争を、公平に裁判するための基準を示すため。	鎌倉時代初期、地頭として派遣された御家人が荘園領主と対立するケースが増えました。執権の北条泰時は、頼朝以来の慣習（道理）に基づいた明確なルールを定めることで、武士社会の秩序を保ち、身分に関わらず公正な裁判を行おうとしました。これは武士による最初の体系的な法律であり、後の武家法のモデルとなりました。
問8	<b>答え 1</b> 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防塁を築いた。	13世紀、鎌倉幕府の八代執権であった北条時宗は、一度目の元軍による来襲（文永の役）の後、再び攻め込んでくることを予測して九州北部の博多湾沿いに約20kmにわたる「石の防塁」を建設させました。この防壁は、二度目の来襲（弘安の役）において元軍の上陸を困難にさせ、日本側の防衛成功に大きな役割を果たしました。選択肢にある北条泰時は三代執権であり、足利尊氏は室町幕府の創設者であるため、この時期の対応者としては不適切です。
問9	<b>答え 1</b> 徳政令	鎌倉時代の御家人は、元との戦いにおいて自費で武器や食料を調達して戦いましたが、恩賞として与えられる土地が不足していたため、生活が非常に困窮しました。土地を切り売りして借金に苦しむ御家人が増えたことは、幕府の軍事力の低下に直結するため、幕府は借金をリセットして土地を返還させるこの命令を出しました。1297年の「永仁の徳政令」がその代表例です。